

# 第4回「渡辺淳一文学賞」 受賞作決定のお知らせ

2019年4月1日  
株式会社 集英社

まつ い け さ こ  
松井今朝子

ふ よう た て  
『芙蓉の干城』

(集英社刊)



1953年京都市生まれ。早稲田大学大学院文学研究科演劇学修士課程修了。歌舞伎の企画制作に携わった後、故・武智鉄二氏に師事し歌舞伎の脚色・演出を手がける。'97年『東洲しゃらくさし』で小説デビュー。同年『仲蔵狂乱』で第8回時代小説大賞、2007年『吉原手引草』で第137回直木三十五賞を受賞。著書に『壺中の回廊』『縁は異なるもの 麴町常楽庵月並の記』『料理通異聞』などがある。

撮影：富永智子

■ 第1回受賞作 川上未映子『あこがれ』(新潮社刊)

■ 第2回受賞作 平野啓一郎『マチネの終わりに』(毎日新聞出版刊)

■ 第3回受賞作 東山彰良『僕が殺した人と僕を殺した人』(文藝春秋刊)

## ■ 渡辺淳一文学賞 創設の趣旨

「昭和・平成を代表する作家であり、豊富で多彩な作品世界を多岐にわたり生み出した渡辺淳一氏の功績をたたえ、純文学・大衆文学の枠を超えた、人間心理に深く迫る豊潤な物語性を持った小説作品を顕彰します」

主催：株式会社 集英社  
公益財団法人 一ツ橋綜合財団

■ 対象 前年1月～12月に刊行の、日本語で書かれた  
小説単行本および単行本未刊行の文庫

■ 賞：正賞 = 記念品 副賞 = 200万円

■ 今後の日程 ◎受賞作品の発表誌  
「小説すばる」2019年5月号（4月17日発売）  
「すばる」2019年6月号（5月7日発売）  
◎第4回「渡辺淳一文学賞」  
贈賞式・祝賀パーティー 2019年5月17日

## ■ 選考委員



### 浅田次郎

1951年東京都生まれ。1995年『地下鉄に乗って』で吉川英治文学新人賞、1997年『鉄道員』で直木賞、2000年『壬生義士伝』で柴田錬三郎賞、2006年『お腹召しませ』で中央公論文芸賞、司馬遼太郎賞、2008年『中原の虹』で吉川英治文学賞、2010年『終わらざる夏』で毎日出版文化賞、2016年『帰郷』で大佛次郎賞を受賞。2015年紫綬褒章受章。



### 小池真理子

1952年東京都生まれ。1996年『恋』で直木賞、1998年『欲望』で島清恋愛文学賞、2006年『虹の彼方』で柴田錬三郎賞、2012年『無花果の森』で芸術選奨文部科学大臣賞、2013年『沈黙のひと』で吉川英治文学賞を受賞。



### 高樹のぶ子

1946年山口県生まれ。1984年『光抱く友よ』で芥川賞、1994年『葛然』で島清恋愛文学賞、1995年『水脈』で女流文学賞、1999年『透光の樹』で谷崎潤一郎賞、2006年『HOKKAI』で芸術選奨文部科学大臣賞、2010年『トモスイ』で川端康成文学賞、2017年日本芸術院賞を受賞。2009年紫綬褒章、2017年旭日小綬章受章。2018年文化功労者。



### 宮本 輝

1947年兵庫県生まれ。1977年『泥の河』で太宰治賞、1978年『螢川』で芥川賞、1987年『優駿』で吉川英治文学賞、2004年『約束の冬』で芸術選奨文部科学大臣賞、2010年『骸骨ビルの庭』で司馬遼太郎賞、2019年朝日芸術賞を受賞。2010年紫綬褒章受章。



わた なべじゅんいち

### 渡辺淳一 プロフィール

1933年北海道生まれ。2014年4月30日没。医学博士。1958年、札幌医科大学医学部卒業後、母校の整形外科講師をつとめるかたわら小説を執筆。1970年『光と影』で直木賞、1980年『遠き落日』『長崎ロシア遊女館』で吉川英治文学賞を受賞。2003年紫綬褒章受章、菊池寛賞受賞。2016年『渡辺淳一 恋愛小説セレクション』全9巻刊行。2018年6月『渡辺淳一のすべて』刊行。

【お問い合わせ先】 集英社 文庫編集部 清田 TEL 03-3230-6097  
文芸編集部 徳永 TEL 03-3230-6031